

2017/4/14

青山学院大学経済学部に寄附講座を開設

株式会社東洋経済新報社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山縣裕一郎）は、青山学院大学経済学部において、2017年度前期に寄附講座「産業論／経済・金融事情（ジャーナリズム・企業分析）」を開設します。

同校における寄附講座は2016年度から今年で2年目となります。

本講座では、大学生が消費やアルバイトその他で大きくかかわりを持つ「企業」について、その見方を学習するための授業を展開します。

同校に導入されている東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー（当社主要刊行物の検索・閲覧サービス）を使用し、『会社四季報』、『業界地図』、『就職四季報』、『CSR企業総覧』など、企業研究に欠かせないツールの解説だけでなく、グループワークと成果発表、ディスカッションを交えたアクティブ・ラーニングを実践していきます。

講師は、「四季報」シリーズや『業界地図』など各種の媒体で培われた会社・業界分析のノウハウを持つ、当社社員が輪番で務めます。

東洋経済新報社では、これからの経済社会を担う若者が、経済情報を正しく使いこなす力を得るため、情報発信者として彼らの手助けをすることで、創業の理念である「健全なる経済社会の発展に貢献」していく方針です。

<寄附講座の概要>

- タイトル：産業論(ジャーナリズム・企業分析)
経済・金融事情(ジャーナリズム・企業分析)
- 日程：2017年度前期（2017年4月～7月）
- 場所：青山学院大学青山キャンパス
- 対象：青山学院大学経済学部学生（経済学科3年生、現代経済デザイン学科2年生主体）
- 単位数：2単位